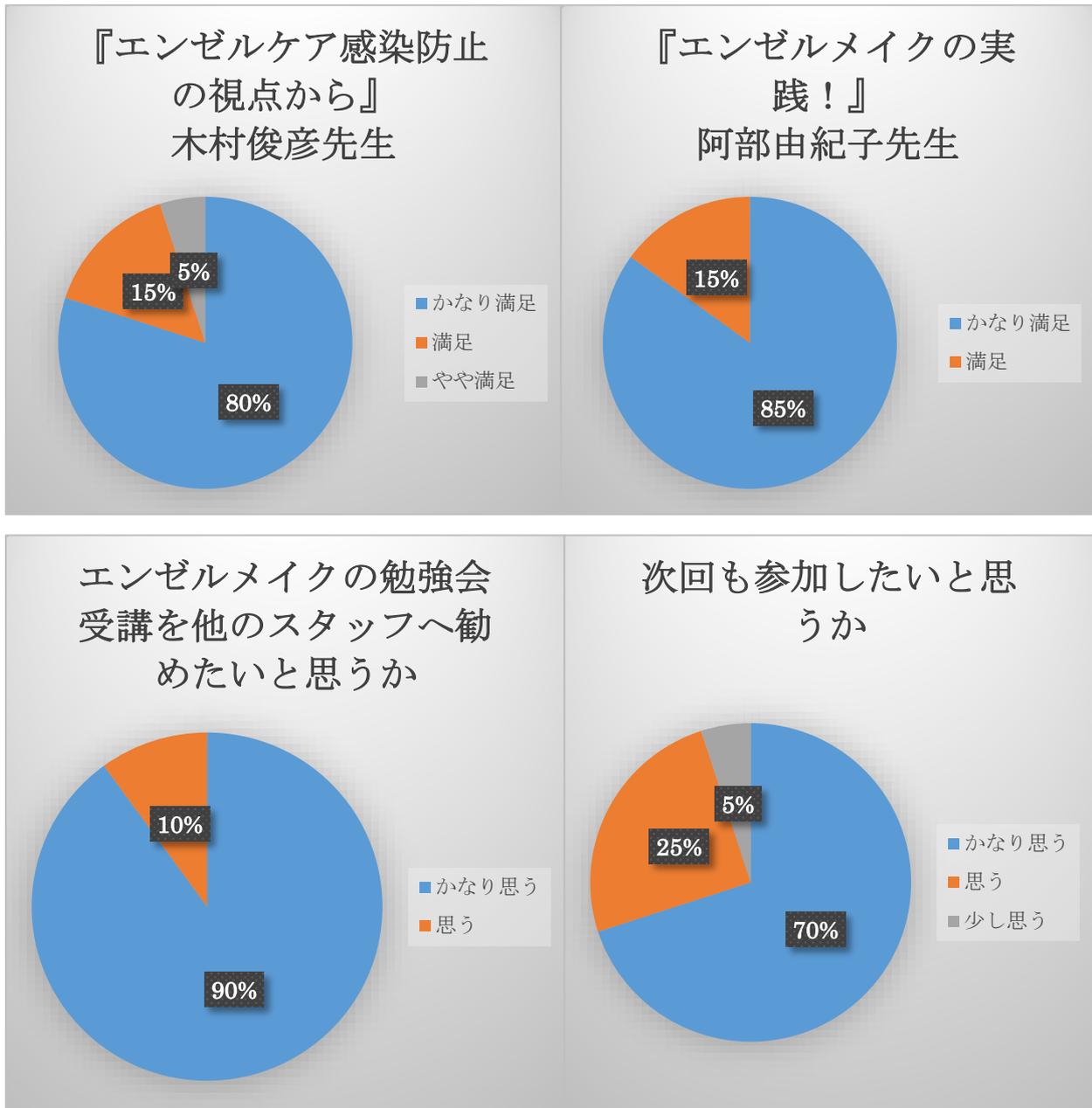


2024年2月15日（木）

エンゼルケア・メイク勉強会アンケート結果報告

参加人数 1部 13名 2部 9名 合計 22名 アンケート回収 20名



【自由記載のコメント】

- ☆ エンゼルメイクは時間に追われ、さらっとしか出来ていなかったが、この勉強会を通して、家族にとっては大切な人の最期の見送りであり、エンゼルケアという時間を通しての家族との関りが重要なことを再確認することができた。エンゼルメイクでの大切なポイントがとても学びになり、今後の看取りのケアに役立てたい。
- ☆ 保湿クリームをファンデーションに混ぜながら色を作るということは実践したことがなかったため、今後実践していきたい。確かに、パウダーファンデーションだけでは「化粧した！」感が出てしまい、悩

んでいたことを思い出しました。

- ◇ 今までのエンゼルメイクは男性も女性も同じようにメイクしていましたが、今回の勉強会でそれぞれのポイントを学ばせていただいたので、実践に活かしたいと思いました。
- ◇ 死後も生きている人と同じように「標準予防策の考え方」に基いて死後処置を行い、ご遺体からの感染を予防したり、死によって変化のご遺体の外観を整える大切さを復習することができた。エンゼルメイクの実際に実践することで、イメージしやすくとっても良かったです。家族とエンゼルケアをすることでグリーフケアの一つにもなるということも学んだので、家族と共にそして家族の反応をみながら、一緒にケアできる場面を増やしていきたいです。ありがとうございました。
- ◇ 実際にマネキンにメイクをしながらの学びでしたので、イメージしやすいし、メイクの仕方も丁寧に教えて頂いたので楽しい勉強会でした。
- ◇ 今まで、エンゼルメイクの勉強会に参加することがなかったので、良い学びになりました。男性のメイクについても学べたので良かったです。
- ◇ 学校では学べなかったことを学ぶことが出来て良い機会となりました（看護学生さんより）
- ◇ とても参考になりました。業務の一部ではなく、家族が見慣れた姿に整えられるような実践力がこの勉強会を通して身につくと思いました。
- ◇ 勉強会を受けて、ご遺体がどの様な変化をたどるか具体的に理解できました。感染を広げないためにも、しっかりエンゼルケアを行っていききたいと思いました。エンゼルメイクではポイントを押さえて綺麗に仕上げるコツを学びました。
- ◇ 今までは自己流で行っていましたが、勉強会を受けて、今後しっかりエンゼルケアをしていこうと思いました。病院から退院したあとの体液の露出の場面を具体的にお話ししていただき理解しやすかった。今後のケアに繋げていきたい。
- ◇ メイクはうまくできななかったが、良い経験になりました。
- ◇ 他の学生がかしま病院さんに実習に来た際には、是非、勉強会に参加させて欲しいと思う。准看護学校の基礎看護実習で勉強会に参加させていただきました。どうもありがとうございました。（看護学生さんより）
- ◇ 遠い昔、看護学校の授業でエンゼルケアについて学習しましたが、看護師になって改めて学びなおすという機会はこれまで持っていなかったと反省しました。（経験年数 17 年）患者様との最期の関りであるエンゼルケアですが、忙しさや時間に追われて、心を込めて出来ていたか、今回の勉強会で自分自身に問い直す良いきっかけになりました。内容も時間も丁度よく満足できる内容でした。また、機会があれば是非参加したいと思います。
- ◇ 注射の抜去部からの体液露出、出血の写真が衝撃的でした・・・知ることができたので、今後のケアに活かしていきたいと思います。
- ◇ 死後の変化を知ることで、今まで以上にエンゼルケアの大切さを実感しました。看護師として適切な処置を行い、家族と一緒に参加できるエンゼルケアの時間を作っていきたいと思いました。
- ◇ 今まで、メイクキットを上手に使用できていなかったのが、使用方法を学ぶことが出来て良かったです。ケアの方法をゆっくり学べ、実際にマネキンを使用しメイクすることで、メイク前と後の変化が分かりやすかった。血色を補うポイント（耳たぶやまぶたなど）も教えて頂き、温かみのある表情へ変化したところも実際に見ることで、とても勉強になりました。
- ◇ 作業だからメイクをするという考えではなく、患者さんのこれまでの背景を考慮してどんなメイクが望ましいのかを考えながらケアを行っていききたいと思いました。「死」は家族にとってなかなか受け入れられない事かもしれませんが、最期のケアをご家族と共に行うことで、大切な人の死をご家族が受け入れられるような関りを持てるように今後、関わっていきたいと感じた。

- ◇ 今まで、みようみまねでやっていたことが、勉強会に参加して手順や方法をしっかりと学ぶことができた。今まで、病院から死亡退院した後の姿を想像することはなかったが、木村先生のリアルな体液の露出の場面や病院を出てからの搬送について知ることができたので、今後のケアに活かしていきたいと感じた。実際に祖母が亡くなった後に家へ帰ってきたとき、口は開いたまま、血色は悪いという状況で家族としては寂しい思いがありました。今後、同じ思いをする家族が一人でも減るように、ケアに活かしていきたいと思う。